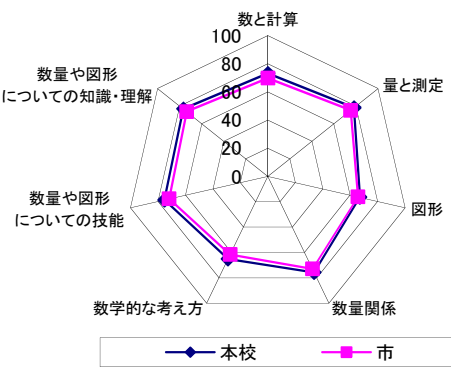


宇都宮市立宝木小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	73.2	69.8
	量と測定	78.3	75.2
	図形	67.1	65.7
	数量関係	75.9	73.1
観点別	数学的な考え方	65.1	61.7
	数量や図形についての技能	75.3	72.0
	数量や図形についての知識・理解	76.7	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 平均正答率は、市を上回っている。 - あまりのある割り算や分数で大きさを表す問題の平均正答率は市より高かったが、数直線上に示された数を読み取る問題では市をやや下回った。 1000を320個集めた数はいくつかを答える問題の平均正答率は、市より6.7ポイント下回っている。 - 余りのある除法を使った文章問題では、市の平均正答率を約20ポイント上回った。 2つの表を見て、異なる数値に着目するなどの工夫をして、問題の条件を満たす場合を考える問	- 数直線上に示された数を読み取る問題では、分かっている数と数の間にある最小の目盛りが表す数の読み取りを丁寧に指導し、練習問題を行うことで習熟を図る。 - 数の相対的な大きさを理解しているかどうかを見極める。1000を320個集めた数はいくつかという問題では、図や絵に表して考えることで数の仕組みを理解させ、繰り返し復習して定着を図るようにする。
量と測定	- 平均正答率は、市を上回っている。 - 物差しが目盛り、かかった時間、道のりと距離、はかりの目盛りなどの正答率は、市を上回った。 - 縄跳びのなわの長さを答える問題の平均正答率は、市より約6ポイント下回った。	- 物の重さの単位を答える問題の平均正答率が市を5%ほど上回ったのは、授業で実際にはかりを用いていろいろな物の重さを量った経験も大きく影響していると思われる。 - 平均正答率が低かった、長さを推察して適切な単位を用いることについても、数多くの体験を通して定着を図るようにする。
図形	- 平均正答率は、市を上回っている。 - 箱の形を見て、長さの等しい辺の数を答える問題の平均正答率は、市を下回った。 - 箱の形を見て、足りない面を答える問題の平均正答率は、市を約7ポイント上回った。	- 箱の形については、絵や図を用いながら、辺、頂点、面の数について復習し、練習問題を行って習熟を図る。 - 箱の形を見て足りない面を答える問題については、立体の面の形を実際に写し取るなどの復習を行い、理解が深まるようにしていく。
数量関係	- 平均正答率は、市を上回っている。 □を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ問の平均正答率は、市を上回った。 □を使った減法の話の正しく表した図を選ぶ問題の平均正答率は、市を約7ポイント下回った。 - 棒グラフから人数を読み取る問題の平均正答率は、市を10ポイント以上上回った。また、棒グラフを読み取り、示された条件に合う答えを選ぶ問題の平均正答率も、市を上回った。	□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ問の平均正答率は市を上回ったものの、50%を下回っている。絵や図などに表して考えたり、繰り返し復習を行ったりして、問題の場面を正しく理解し、意味を考えて立式することができるようになっていく。 □を使った問題を解くために、問題の内容を正しく表した図を繰り返しかかせることで理解を深めるようにする。